

CULTURAL HERITAGE MAP



シチャヌカー
約300年前に、墓を造ろうとした与那覇家の先祖が掘り当てた湧き水です。



地頭火ヌ神
真志喜村の火ヌ神を安置している拜所です。三つの石を祀っています。



ナカミチ
大山へ通じていた道で、現在のパイプライン線と重なるところがあります。



ヌンドウンチ
ノロ火神を祀っています。2000(平成12)年に木造瓦葺で再建されました。



クワンガー
昔の真志喜の人びとは、このあたりに暮らしていたといわれています。

真志喜のあらまし

宜野湾市

宜野湾市の南西部にあり、方言で「マシチ」といいます。沖縄で初の進貢貿易を行った中山王察度(1321~1396)の生誕地とされています。宜野湾間切が新設された1671(尚貞3)年に設立しました。戦前までは農業が盛んで、サトウキビ・サツマイモ・タイモなどが主要な作物でした。戦後、軍道1号線(現在の国道58号)より西は、米軍のキャンプ・マーシーとして接收されましたが、1976(昭和51)年に全面返還されました。返還地を含めた西海岸沿いには、宜野湾高校・市立グラウンド・市立体育館・沖縄コンベンションセンター・宜野湾港マリーナ・市営球場などの施設や、大型商業店舗・娯楽施設が建設され、賑わいをみせています。



MASHIKI MAP 真志喜MAP 歴史文化遺産 マップ

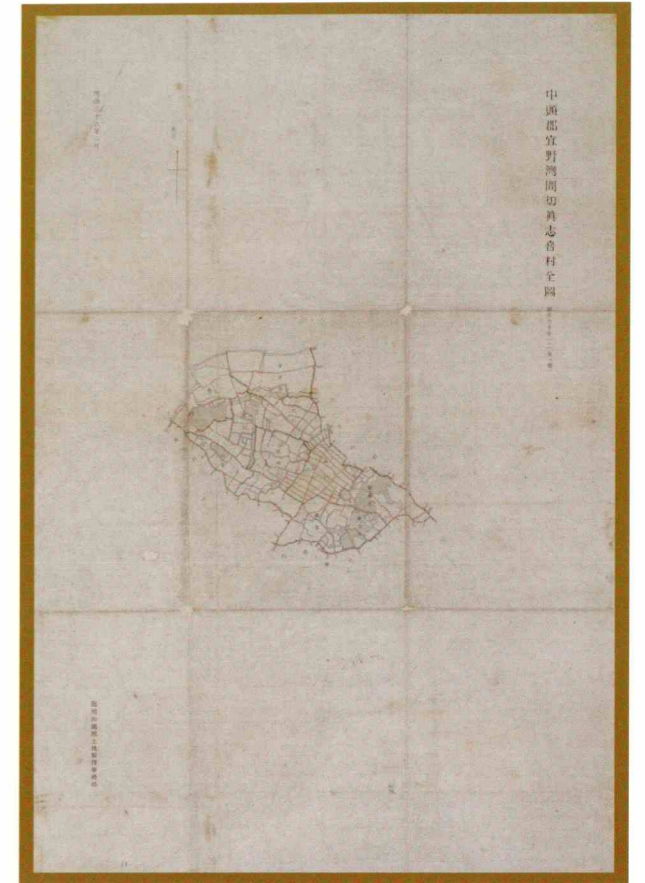


編集・発行/宜野湾市教育委員会文化課
〒901-2203 沖縄県宜野湾市野嵩1-1-2 TEL.098-893-4430

編集協力/アウトスペース合同会社
〒901-2202 沖縄県宜野湾市普天間1-24-2 4F TEL.098-943-5740

印刷/株式会社沖産業
〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐2-1-1 TEL.098-898-2191

土地台帳附属地図(真志喜村)



土地台帳附属地図(真志喜村)

臨時沖縄県土地整理事務局[1898(明治31)~1904(明治37)年]が作製した地図です。色によって宅地や耕地などが示されており、当時の真志喜の様子がうかがえます。市指定有形文化財(歴史資料)です。



戦前の真志喜集落(イメージ)

戦前の真志喜集落は純農村でしたが、子どもたちの教育に熱心だったことから、「スグリブラク」(優秀な集落)と呼ばれました。